

製品名: APAF1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82002**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	141.8kDa

抗原情報

遺伝子名	APAF1
別名	CED4; APAF-1
遺伝子 ID	317.0
SwissProt ID	O14727
免疫原	大腸菌で発現したヒト APAF1 (AA: 1138-1237) の精製された組み換え断片。

背景

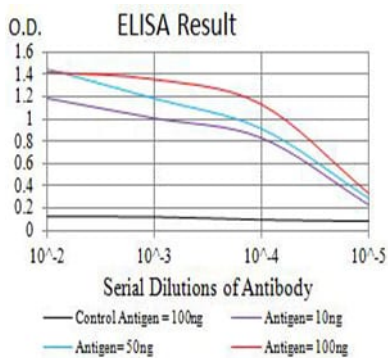
この遺伝子は、アポトーシスを誘導する細胞質タンパク質をコードしています。このタンパク質は、WD-40 ドメイン、カスパーゼリクルートメントドメイン (CARD)、および ATPase ドメイン (NB-ARC) の複数のコピーを含んでいます。シトクロム c と dATP に

結合すると、このタンパク質はオリゴマー状のアポトソームを形成します。アポトソームはカスパーゼ 9 プレプロタンパク質に結合して切断し、成熟した活性化型を放出します。活性化されたカスパーゼ 9 は、その後のカスパーゼカスケードを刺激し、細胞をアポトーシスへと誘導します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

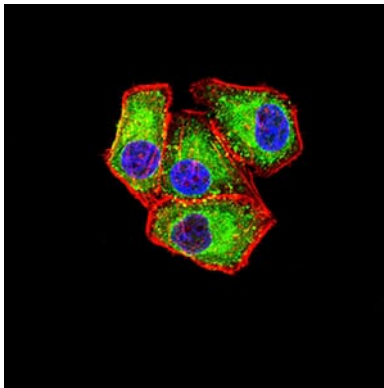
研究分野

-

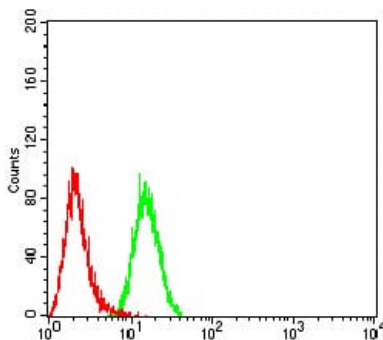
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



APAF1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



APAF1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。